

2026年度 大阪府内地域連携プラットフォーム  
第1回 大阪∞GAKU（大学教職員研修）受講者アンケート

回答者 20名 / 受講者 29名 回答率 69.0%

1. 回答者について

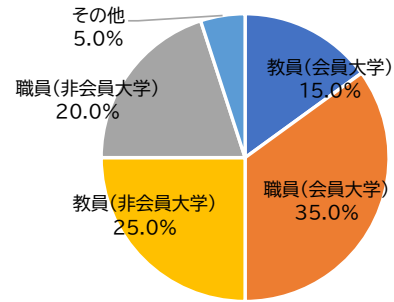
|           |   |
|-----------|---|
| 教員(会員大学)  | 3 |
| 職員(会員大学)  | 7 |
| 教員(非会員大学) | 5 |
| 職員(非会員大学) | 4 |
| その他       | 1 |

20

<その他>

・民間事業者

回答者



2. 研修を知ったきっかけ(複数回答可)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 大学コンソーシアム大阪のホームページ      | 3 |
| 大学コンソーシアム大阪の会議等での案内     | 1 |
| 所属大学の庶務・総務担当からの案内       | 2 |
| 所属大学のFD・SD担当者からの案内      | 2 |
| 学内掲示・回覧チラシ              | 4 |
| 外部メーリングリスト(tulip・ぽっちゃん) | 5 |
| 同僚・知人からの紹介              | 0 |
| その他                     | 4 |

21

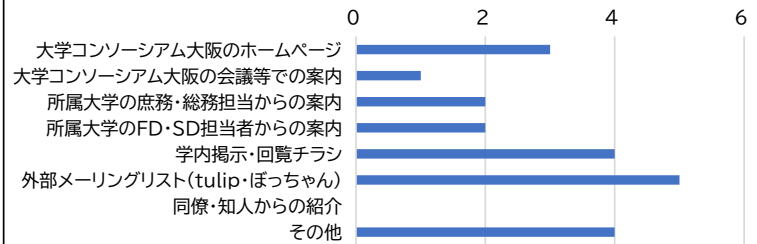
<その他>

・facebook

・講師である山田教授からのご紹介(他1件)

・全国教職員コミュニティ(Slack)より

研修を知ったきっかけ

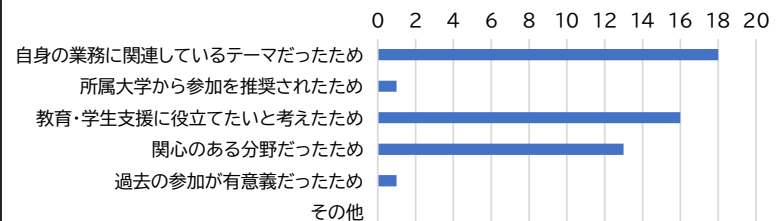


3. 受講理由(複数回答可)

|                      |    |
|----------------------|----|
| 自身の業務に関連しているテーマだったため | 18 |
| 所属大学から参加を推奨されたため     | 1  |
| 教育・学生支援に役立てたいと考えたため  | 16 |
| 関心のある分野だったため         | 13 |
| 過去の参加が有意義だったため       | 1  |
| その他                  | 0  |

49

受講理由

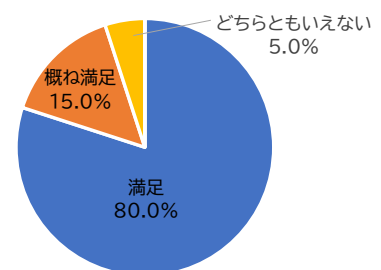


4. 研修の満足度について

|             |    |
|-------------|----|
| 満足          | 16 |
| 概ね満足        | 3  |
| どちらともいえない   | 1  |
| 満足できない点があった | 0  |
| 不満          | 0  |

20

研修の満足度について

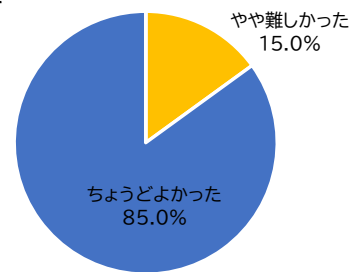


## 5. 研修の難易度について

|          |    |
|----------|----|
| 難しかった    | 0  |
| やや難しかった  | 3  |
| ちょうどよかった | 17 |
| やや易しかった  | 0  |
| 易しかった    | 0  |

20

### 研修の難易度について

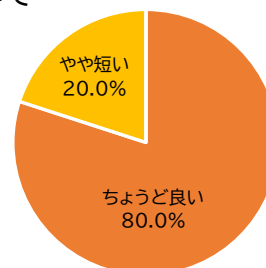


## 6. 研修の時間(長さ)について

|        |    |
|--------|----|
| 長い     | 0  |
| やや長い   | 0  |
| ちょうど良い | 16 |
| やや短い   | 4  |
| 短い     | 0  |

20

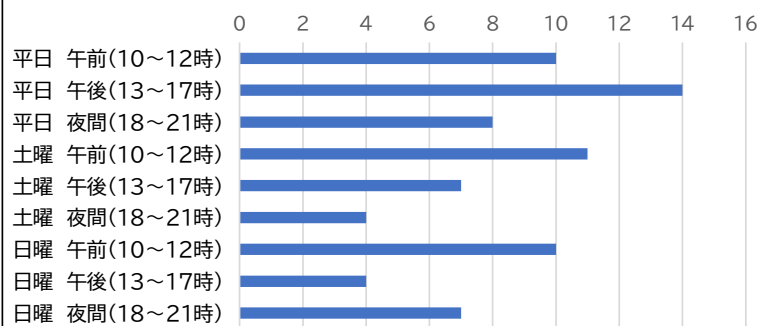
### 研修時間(長さ)について



## 7. 研修の受講にあたり都合の良い時間帯について

|               |    |
|---------------|----|
| 平日 午前(10～12時) | 10 |
| 平日 午後(13～17時) | 14 |
| 平日 夜間(18～21時) | 8  |
| 土曜 午前(10～12時) | 11 |
| 土曜 午後(13～17時) | 7  |
| 土曜 夜間(18～21時) | 4  |
| 日曜 午前(10～12時) | 10 |
| 日曜 午後(13～17時) | 4  |
| 日曜 夜間(18～21時) | 7  |

### 都合の良い時間帯について



## 8. 特に印象に残った点や参考になったこと

### ① アントレプレナーシップ教育の意義・組織的取組

|                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他大学連携の重要さ                                                                                                                        |
| アントレプレナーシップは本来、大学での教育全体で醸成するべきだが、どうも起業家マインドを持った学生のためだけのものという雰囲気がある。担当者レベルで展開するには限界があると感じるので、大学として取り組んでいくマインドと組織体制がとても必要だと改めて感じた。 |
| 学内でのアントレを醸成するにはどうしたらいいのかという点は、組織として考えていく、取り組んでいくことの重要性が参考になりました。また、大学としての特徴という点においては、このアントレは大きな特徴、差別化できる点であると感じました。              |
| 「AIに支配されるのではなく、自らの人生の舵を自分で取ること。」<br>この言葉は、今の時代にこそアントレが必要である理由を端的に表しているように感じ、とても印象に残りました。                                         |
| アントレプレナーシップ教育の大学導入の意義、関西大学の先進取組事例の紹介など                                                                                           |

### ② 学生理解・学生への関わり方

|                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今の学生のことをまず理解することが大切。自分が考える「学生像」を当てはめて今の学生を見ていないか。思い当たる節があったので、今後、意識してフラットに見るようにしたいと思います。                                      |
| これから社会に出る学生さんに、「アントレプレナーシップ」の要素と言われるもののいくつかを身につけてほしいとは思いますが、教育を提供する側の態度としては、少し時間的に余裕をもち、学生さん1人ひとりの若い感性に任せる懐の広さがあるのも良いように感じます。 |
| 本日はありがとうございました。山田先生がお話されていた中で特に印象的だったのは「学生を知る」というところでした。個人的には、知っているつもりでしたが、まだまだ学生に寄り添わないといけなと感じました。                           |

### ③ 先進事例・ツール・具体的手法

|                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外部との連携や文科省が実施しているプログラムを有効活用していく                                                                                                                                                                                      |
| 私自身職員として大学教育にかかわっている中で課題感を持ちながら今回の研修に参加させていただき、関西大学様の教職協働の組織運営は本当に素晴らしいと感動いたしました。私ひとりでは難しいと思いますが、少しずつ組織の意識やあり方を変えていきたいと感じました。実務レベルでも勉強になるものばかりでした。ありがとうございました。                                                       |
| CAN PRO MAPがとても参考になりました。<br>どのプログラムにも学生が参加してくれないのではなく、複数部署が同時に多方面から動いているせいで選択肢が多すぎる(選べない)状態になっているということに気づかされました。学内全体で、どの力が伸ばせるか、この能力を伸ばすには？と情報をかみ砕いて整理し提供することで、リスクを恐れる現代の学生も行動しやすくなると学びました。                          |
| 関西大学の「CANPRO MAP」のように、学生が各プログラムの内容や特徴を一目で理解できる資料は、本学においても必要であると感じました。<br>日頃、学生が「とりあえずやってみる」という形で活動に参加しているものの、その活動の目的や目指すゴールが十分に伝わっていないと感じる場面が多々あります。そのため、学生自身が活動の意義や到達目標を理解したうえで、自ら選択して取り組めるような仕組みや情報提供が重要であると感じました。 |
| EntreCompのついて知ることができ、資料もダウンロードすることができました。                                                                                                                                                                            |

### ④ 他大学との情報交換・課題共有

|                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ブレイクアウトルームにて課題の共有ができ、他大学での実践例を共有いただけたことが非常に良かった。                                                                                     |
| 課題感をもって取り組んでおられる教員の多さが印象に残りました                                                                                                       |
| ご講演もですが、ご講演内容を踏まえグループでディスカッションができたことが良かったです。グループワークでは、自身の具体的な課題を話とともに、それぞれ解決策を話すことができたので、即解決となることではないですが、試してみようという内容を多く話し合うことができました。 |
| グループワークでの意見交換が参考になりました。                                                                                                              |
| 山田先生のお話は、これからアントレプレナーシップに携わる大学職員(アントレプレナーシップ初心者)にも非常に分かりやすく「なぜ」を落とし込めたと思います。また、他大学様との状況共有など非常に有意義な時間でした。                             |
| 初めてのアントレ関係の講義で、基礎編なのでしょうか、とても有意義であった。<br>また、他の大学でも運営の問題があることも理解ができて参考となった。                                                           |

## 9. その他、研修に関する意見、感想等

### ① 研修全体について

貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。今後もぜひ参加させていただければと思います。

貴重な勉強の機会となりました。誠にありがとうございました。

大変勉強になりました。ありがとうございました。

### ② グループワーク・意見交換について

グループワークではやや課題を提供し、解決策を頂く立場となっていました。色々と実践されている教職員の皆様にご提供できることがなく、恐縮でしたが、非常にありがたい機会でした。

先生の講義にプラスして、グループワークでの話もとても良かったです。同じように考えているところや困っていることなど共有できて、楽になりました。

このタイプの研修には久しぶりに参加させていただきましたが、大学改革の諸取組に、職員さんが本当に興味をもって関わるようになってきたという印象をあらためて持ちました。自分は教員ですが、他大学の職員さんと意見交換をさせていただくのが大変楽しみです。

### ③ グループワークの時間・運営について

非常に有意義でした。もっとディスカッションしたかったです。ありがとうございました。

私が日頃の業務で感じている課題について、グループワークで同席した教職員の方々や山田講師にも共感していただき、自分だけの課題ではないことを知ることができました。それだけでも非常に有意義な時間となりましたが、具体的な解決策を検討するまでには至らなかったため、もう少し話し合う時間があればよかったと感じました。  
また、グループワーク中に山田講師から直接お話を伺う機会もあり、理解が深まるとともに、より満足度の高い研修となりました。

もう1点、自らファシリテーターを名乗り出すことができなかったことが、自身の課題として印象に残りました。私より年上の方がいる環境では、「出しゃばっていると思われるのではないか」という気持ちが先立ち、様子を見てしまいました。

この経験を通して、学生たちも同様に、一歩踏み出したい気持ちはありながらも、周囲への遠慮や不安から行動に移せない場面があるのではないかと感じました。そのため、自分自身がなぜ一歩を踏み出せないのかを分析するとともに、そうした心理的な壁をどのように乗り越えていけばよいのかについて考える機会にもなりました。

グループディスカッションの時間が短すぎた。

### ④ 開催方法（オンライン・対面）に関する意見

対面実施の場合は、距離的な部分でなかなか参加が叶いませんが、遠隔であれば是非とも今後も参加させていただきたいと思います。このような遠隔の研修会も増やして頂けると嬉しいです。

ぜひ、年に一度対面の機会も設けていただけると嬉しいです。

### ⑤ 研修内容を踏まえた気づき・今後の実践への示唆

自分にだからできることや、0から1を生み出す人材が求められる中で、「出る杭は打たれる」風潮がある日本は他国の学生に比べてなかなか行動に移すことが難しいと思います。本学では特に意欲的な東南アジアからの留学生の入学が増加傾向にあり、日本人学生との意識の差が目立ってきています。いきなり考えを改めるのは難しいですし、反対に拒絶反応を起こしてしまうと思うので、まずは起業家性の醸成を目標に、4年間を通して意識を芽生えさせられるようにサポートをしていきたいと感じました。  
今回の研修は、新しい学びはもちろん、改めて気づかされることが多く、大変勉強になりました。ありがとうございました。

## 10. 今後、大阪∞GAKU（大阪府内地域連携プラットフォーム 大学教職員研修）に期待すること、希望する研修テーマ等

アントレプレナーシップ教育に関するテーマ

引き続きアントレプレナーシップ教育と大学連携というのも興味があります。

今回話題に出ました「アンブレ教育での効果測定・フィードバックのやり方」をより具体的にお聞きしたいと思いました。

学生の地域連携活動（ボランティア、産官学連携、PBL、インターンシップなど）

本学では、ポートフォリオの活用促進が課題となっています。学生に対して学修成果を可視化する意義や重要性をどのように伝え、主体的な活用につなげていくべきかについて関心があります。  
そのため、学生がポートフォリオに取り組む意欲を高めるための工夫や、学生自身に自分事として（自分のためになるものとして）捉えてもらうための実践事例などを学ぶことができるテーマを希望します。

他大学の方とディスカッションする機会があまりないので、こういったセミナー＋ディスカッションというのは今後も実施いただきたいです